



# 岩国地区防災協会 会報



発行所 / 岩国地区防災協会  
 (事務局 岩国地区消防組合消防本部内)  
 TEL (0827) 93-3310  
 印刷所 / 有限会社 広瀬印刷  
 TEL (0827) 72-2600

**総務省消防庁主催『石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト』  
 三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織 優秀賞(総務大臣賞)受賞!**



表彰式記念撮影



競技風景



三井化学株式会社岩国大竹工場  
自衛防災組織

総務省消防庁主催の「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」が全国各地35事業所で行われ、三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織が令和2年度に続き、総務大臣賞を受賞されました。

今年で10回目となる技能コンテストは、石油タンクでの災害を想定した消火活動訓練を実施することで、自衛防災組織の技能及び士気の向上を図ると同時に、災害時の被害の軽減を図ることを目的としています。参加された隊員の皆様は約2ヶ月間、猛暑の中訓練を重ねられスキルアップしたことにより、今回の成績に結びついたものです。

関係者の皆様、誠におめでとうございます。



## 令和6年春季全国火災予防運動

【3月1日～3月7日】

令和5年度全国統一防火標語 『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

令和6年山口県防火標語 『火の始末 後では遅い 即始末』

3月1日から7日まで、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。この運動は、空気が乾燥して火災が発生しやすいこの時季に、火災予防思想の一層の普及を図り火災の発生を防止し、高齢者をはじめとして死者の発生を減少させること、財産の損失を防ぐことを目的として行われます。

岩国地区消防組合管内では、令和5年1月から12月までの1年間に82件の火災が発生し5名の尊い命が失われました。

大切な命や財産を守るため、日頃から火の取扱いには十分注意しましょう。



### 令和5年火災発生状況

	発生件数	火災種別					死者	負傷者
		建物	林野	車両	船舶	その他		
令和4年	65	23	2	3	0	37	1	7
令和5年	82	26	8	5	0	43	5	10

## 先進地視察研修記



ENEOS(株)麻里布製油所  
環境安全グループマネージャー  
小山 信康 さん

11月21日(火)秋晴れの下、私たち防災協会の研修参加者一同(14名)は、岩国観光バスに乗り、予定とおり8時30分に「いわくに消防防災センター」を出発し、最初の目的地である北九州市「日本製鉄(株)九州製鉄所」を目指しました。なお、本研修はコロナ禍であったことから、令和元年以来、4年振りの視察研修となりました。初参加であった私は、バスに乗り、早速手渡された旅程表がコンパクトかつ丁寧に作り込まれていることに驚きつつ、しばらくはその旅程と参加者名簿を凝視し、日頃お付き合いのない事業者の方々との交流に少しの緊張とワクワク感を感じました。

11時頃に門司港に到着した一行は、休憩と食事を兼ねて門司港レトロの街並みを散策しました。食事はアインシュタインも宿泊されたという「三井倶楽部」にて名物「焼きカレー」を頂きました。

その後、最初の研修目的地「日本製鉄(株)九州製鉄所」を訪れました。想像していたとおり、敷地は広大で、従業員は3,700名、協力会社を合わせると約10,000人の方々が仕事をされている巨大工場でした。最初にDVD視聴により会社概要を学んだ後、高炉工場へ移動しました。車中から見える高炉はひととき大きく異彩を放っており、実際の高炉フロアへ近接しての見学では、メンバー一同そのダイナミックさ、迫力満点の姿に驚かされました。その後、熱延工場へ移動し、高炉から運ばれた数十センチの鋼材が、数ミリの薄板へ変貌していく過程を見学しました。1,300℃を超える高温で熱せされた鋼板が、徐々に熱延されていく様子は、ガタガタという大きな音とともに、こちらにも迫力がありました。工場内の環境ですが、夏場は50℃まで上昇するということでした。今回の訪問時にも蒸すほどの状況でありましたが、作業員の方は付近に見当たらず、ガイドさんからは、「運転室でのオペレーションであるため通常室内に作業員はいない」と聞き、作業環境としては問題ない様子でした。

また、帰宅後に日本製鉄(株)のH.Pを閲覧していた際、休業災害度指数が掲載されていましたが、0.08(国内鉄鋼業の平均:0.90とのこと)と非常に低い数値であり、優秀な安全成績を誇る事業所であることも確認しました。一方で、万一の災害に備えて事業所内に救急車を配備する等、安全衛生・防災への取り組みを強化していることが窺えました。

その後、「松本清張記念館」を訪問し、『点と線』『眼の壁』等の傑作を執筆した日本文学の巨匠の世界観と生涯を学びました。私はというと、行きの車中の中で、慌てて松本清張についてググって臨みましたが、小説に疎いため、貴重な機会にも関わらず、小説ファンからみれば勿体ない時間の使い方であったかもしれません。歴史好きな一面のある私は、隣接する小倉城の周辺散策も堪能しました。

夕食は小倉の郷土料理に舌鼓を打ち、第二の目的であります会員相互の交流も徐々に深まり、三々五々でメのラーメン、屋台へと流れていきました。

翌11月22日(水)も快晴の中、午前中は「日明浄化センター」を訪問しました。ここは北九州市の上下水道局であり、ビジターセンターでは子供から大人まで楽しく学習できるように工夫がされていました。大雨体験コーナーでは、会員の中から数名の方がその猛烈な雨量を体験し、北九州市が強化している雨水管の整備による豪雨対策を体感しました。また、下水管内をロボットにより点検することで、劣化状況を可視化している点も素晴らしい手法であると感心しました。その後、実際に浄化されていく様子を各エリア別に見学し、浄化された排水が海上に放水されていく様子を見学しました。このセンターではバイオガス発電・太陽光発電・水力発電・風力発電等、多様な手法により発電し、センター内の電力として活用していました。また下水汚泥は市内の発電所に燃料として販売されるとのことで、「環境にやさしい」を体現しているセンターとなっていました。北九州市の下水道率は99.9%に達しており、全国の大都市と比較すると、大阪市・横浜市について第3位とのことで、住みよい街づくりが実践されていました。参考までにと調べてみました岩国市の下水道普及率は約36%であり、全国平均の約80%を大きく下回っていることも初めて気づかされました。

その後、一行は産地直送市場で昼食を取ったのち、NHK北九州放送局の見学へ向かいました。NHKでは番組の作り方、スタジオ見学の後、デモとしての番組制作を体験しました。アナウンサー役、裏方としての映像切り替えを会員同士で行い、実際の放送を体験することが出来ました。デモと分かっていながらも、緊張したのは私だけでは無かったはずです。

1泊2日の研修を共にした防災協会参加者は、他業種の事業所見学により大変勉強になったと共に、会員相互の親睦も深めることが出来、大変有意義な研修となりました。

最後になりましたが、視察研修のためにご尽力頂きました協会事務局並びに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



日本製鉄(株)九州製鉄所



門司レトロ口街並み



NHK北九州放送局

# 令和5年度事業報告

## 普通救命講習



10月3日、いわくに消防防災センター講堂において、当協会加入事業所を対象にAEDを使用した普通救命講習を開催しました。受講者27名が、万に備えて真剣に受講され、全員に修了証が交付されました。

## 危険物取扱者試験準備講習



前期5月25、26日、後期10月19、20日の各2日間、危険物取扱者試験乙種第4類受験者を対象に準備講習を開催しました。前期36名、後期34名合計70名の方が熱心に参加され、試験に備えました。

## 自主防災活動の助成事業



由宇町内防火パレード実施

11月14日、秋季全国火災予防運動に伴う防火パレードを由宇保育園幼年消防クラブの園児が実施しました。当協会では、パレードに参加した園児の皆さんに消防グッズを贈呈し、大変喜ばれました。

## 啓発宣伝活動

ケーブルテレビアイ・キャンのアイ・キャンチャンネル内デイリーi提供コマーシャルとして、消防庁の動画を編集し、秋季・春季全国火災予防運動の実施週間を含む前後一か月間、毎日放映し、住宅火災を防止する啓発広報活動を実施しています。

令和6年春季全国火災予防運動にあわせて令和6年2月13日から放映中ですので、是非ご覧ください。



## 岩国地区消防組合からのお知らせ

### 給油取扱所での給油行為について

固定給油設備からの給油行為については、「自動車等」の燃料タンクへ直接給油することが認められていますが、この自動車等には、自動車及び原動機付自転車のほか、その他の自動車等（水上オートバイや発電機、農機具等の原動力として危険物を消費するもの）も該当し、給油取扱所においてそれらの燃料タンクに直接給油することが認められています。

トラック等の車両の荷台に積載され、又は車両により牽引された状態の「自動車等」の燃料タンクに直接給油することも認められます。

#### 《留意事項について》

車両の荷台に積載された自動車等に給油する際は、積載された自動車等の転倒及び動揺の防止並びに静電気対策に十分留意してください。また、下記の一覧表をご確認ください。

#### 自動車等の燃料タンクへの給油行為の可否一覧表

給油行為者	給油対象	フルスタンド	セルスタンド
従業員	自動車及び原動機付自転車の燃料タンク	○	○
	その他の自動車等(※)の燃料タンク	○	○
顧客	自動車及び原動機付自転車の燃料タンク	×	○
	その他の自動車等(※)の燃料タンク	×	×

(※水上オートバイ、発電機等)



#### お問い合わせ

岩国地区消防組合消防本部 予防課



☎0827-31-0196 まで

# 消防団員募集 !! ~自らの地域は自らで守る~

## 消防団って？

『市の非常備の(=他の本業を持つ人たちによる)消防機関』

日頃は仕事をし、主婦をし、学生をしながら、災害時等いざという時に活躍して地域を守ります。

身分は  
「非常勤特別職の地方公務員」!

## どんな活動をするの？

- ▶ 火災発生時の消火活動をはじめ、風水害時の避難誘導や救助活動、河川の警戒、土のう積み、地域の見回りなど、様々な災害対応を行います。
- ▶ 平常時には、災害対応のための訓練、機材の整備点検をして、いざという時に備えます。広報活動や年末夜警をして、地域のみなさんの火災予防や防災への意識を高めます。



消防出初式

## 報酬はもらえるの？

- ▶ 年額報酬 全団員に、階級ごとに年間一定の金額が報酬として支給されます。
- ▶ 出勤報酬 災害や訓練などに出勤したら、出勤報酬が支給されます。
- ▶ 退職報償金 退団時に、勤務年数及び階級に応じて退職報償金が支給されます。



「岩国市消防団 募集」で検索!

支給要件や金額等、詳しくは岩国市ホームページをご覧ください。

## 自分もなれるの？

なれます!!

みんな、仕事などしながら自分にできる活動をしています。

少しでも興味があれば、お気軽にお問い合わせください!

お問合せ  
岩国市役所危機管理課消防班  
☎ 34 - 0019  
✉ kikikanri@city.iwakuni.lg.jp

## 事務局からのお知らせ

— 令和6年度 —

### ◎危険物取扱者試験(山口県内)

※ 詳細については、案内・ポスター等をご覧ください。

		【前期】	【後期】
試験日・実施地区		6月15日(土) ・ 柳井市、他5市 6月16日(日) ・ 岩国市、他6市	11月16日(土) ・ 岩国市、他6市 11月17日(日) ・ 柳井市、他5市
願書受付期間	書面申請及び電子申請	4月 5日(金)~4月18日(木)	8月30日(金)~9月12日(木)
準備講習		5月23日(木)・24日(金)	10月下旬予定

### ◎前期危険物取扱者試験準備講習(乙種第4類受験者対象)

講習日	5月23日(木) 法令 / 24日(金) 理化学
講習会場	いわくに消防防災センター 2階 講堂
講習料	6,000円(防災協会会員) / 9,000円(非会員)
受付	願書受付日より、受講料を添えて当協会にお申し込み下さい。



合格への  
近道!

危険物取扱者試験乙種第4類を受験される方を対象に準備講習を行っております。経験豊かな講師が傾向と対策について講習を行っております。詳細は当協会事務局までお問い合わせください。

### ◎消防設備士試験

試験日	9月 8日(日)
願書受付期間	書面申請及び電子申請 7月 8日(月)~7月22日(月)



令和6年度危険物取扱者保安講習の受講案内は、4月中旬に当協会ホームページにて、ご案内いたします。

※ 事業所名・代表者名などの変更がありましたら事務局までお知らせください。

岩国地区防災協会

電話(FAX兼用) : 93-3310

Email : ibk-3310@sky.icn-tv.ne.jp